

## 馬房消毒について

### 浦河診療所 大塚智啓

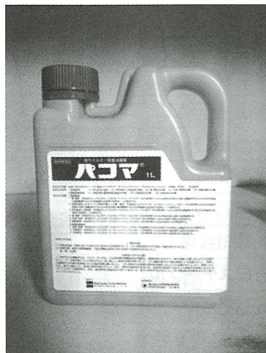
繁殖シーズンもいよいよ終盤に差し掛かり、いよいよ最後の追い込みという時期になってきました。子馬も大部分生まれてきていると思われませんが、生まれて2～3ヶ月が経ち母乳から摂取した移行抗体が減少し、子馬の免疫力が一時的に低下する子馬が増えてくるこれからの時期に多くなるのが、肺炎や関節炎等を引き起こすロドコッカス感染症、下痢を起こすロタウイルス感染症といった子馬の病気です。

今回は子馬の病気の蔓延を防ぐための、馬房消毒についてお話します。

#### 【主な消毒薬の種類】

##### ・逆性石鹼

パコマ、アストップやクリアキルといった消毒薬が該当します。逆性石鹼は多くのウイルスや細菌に効果があり、馬鼻肺炎による流産予防や流産時の消毒にも使うことができますが、ロドコッカスやロタウイルスには効きません。



パコマ



クリアキル

##### ・塩素系消毒薬

ビルコンやクレンテが該当します。逆性石鹼では効かないロドコッカスやロタウイルスに効果があります。しかし、糞便や泥といった有機物が存在すると著しく効力が減少するといったことや、金属腐食性や生体刺激性が強いため金属や馬体の消毒に使うことができないといった欠点があります。したがって、ロドコッカス感染症やロタウイルス感染症発生馬の馬房消毒に使うことが有効な消毒薬です。

#### 【馬房消毒時の注意】

子馬が感染症を発症した時に他の馬への感染を防ぐために、その馬房は消毒をしましょう。消毒薬を希釈する時に水の温度が低いと消毒効果が低くなるため、希釈するときはぬるめの湯（25～40℃）がよいでしょう。

糞尿等の有機物が存在すると消毒効果が弱まってしまうため、糞尿や泥はしっかり洗い流し、その後乾燥させてから（細菌は水分がないと発育できないので乾燥に弱い）消毒薬を噴霧することが重要です。

最後に、感染を厩舎内で広げないためにも、感染馬房の前に踏込槽を置き、馬房を出入りする際に靴の消毒をすることも忘れずにしましょう。

以上で終わります。ありがとうございました。